


平成 29 年度 研究サマリー

研究会名称	日本長期腹膜透析患者における排液中の各種マーカーと EPS との関連の縦断的評価研究 (以下 Japan Fluid Study)
代表者所属	東京慈恵会医科大学附属病院 客員教授
代表者氏名	川口良人 
研究方法・結果	<p>1. 不十分な臨床データの抽出と、各施設への記入の再依頼</p> <p>2. サンプルストック (-80 度) の保存継続</p> <p>3. 貯留時間別データ作成</p> <p>4. 英国へ貯留時間別データ送付</p> <p>5. 英国でのデータ解析(依頼中)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 現在、英国からの最終データ解析結果を待っているというのが現状です。 • 時間がかかっている理由は、貯留時間によって、排液中のサイトカイン濃度が変化しうるため、貯留時間が異なる検体間のバラツキを、統計学的に補正しているとのことですが、サンプル間の貯留時間がまちまちであるため、そのモデル作成を行っているとの連絡を英国から受けております。 • わが国の分も、記入漏れの分や、貯留時間についての問い合わせをしておりますが、貯留時間について、なかなか正確な時間を把握しているところは少なく、苦慮しているところです。 <p>以上活動報告とさせていただきます。</p>
研究成果 (論文、学会発表、雑誌掲載等)	なし